

●母平均 μ , 母分散 σ^2 の正規母集団から抽出した大きさ n の無作為標本を X_1, X_2, \dots, X_n とするとき, $\theta = \sigma^2$ の最尤推定量を求めよ.

(解答例) $\theta \geq 0$ の範囲で考えればよい. 尤度関数 $\ell(x_1, \dots, x_n, \theta)$ は

$$\ell(x_1, \dots, x_n, \theta) = \left(\frac{1}{\sqrt{2\pi}\theta^{\frac{1}{2}}} \right)^n e^{-\frac{1}{2\theta} \sum_{k=1}^n (x_k - \mu)^2}$$

であるから, 対数尤度関数 $L(x_1, \dots, x_n, \theta)$ は

$$L(x_1, \dots, x_n, \theta) = -n \log \sqrt{2\pi} - \frac{n}{2} \log \theta - \frac{1}{2\theta} \sum_{k=1}^n (x_k - \mu)^2$$

となる. θ で偏微分すると

$$\frac{\partial L(x_1, \dots, x_n, \theta)}{\partial \theta} = -\frac{n}{2\theta} + \frac{1}{2\theta^2} \sum_{k=1}^n (x_k - \mu)^2 = -\frac{n}{2\theta^2} \left\{ \theta - \frac{1}{n} \sum_{k=1}^n (x_k - \mu)^2 \right\}$$

となり, $L(x_1, \dots, x_n, \theta)$ は

$$\theta = \frac{1}{n} \sum_{k=1}^n (x_k - \mu)^2 \geq 0$$

で最大値をとる. したがって, 分散 σ^2 の最尤推定量は

$$\frac{1}{n} \sum_{k=1}^n (X_k - \mu)^2$$

である.